

急性胆嚢炎治療における外科治療成績、手術時期、術後合併症関連因子研究

済生会熊本病院では、医学の発展のため患者さんの診療情報等を使用し、本研究を実施しております。ご質問や利用停止等のお申し出は、「問い合わせ先」へご連絡下さい。

研究の目的と方法

急性胆嚢炎は、急性期病院では比較的経験することが多い疾患で、世界的なガイドラインがあり、重症度分類から治療法までがある程度規定されています（Tokyo guideline 2018）。当院における、急性胆嚢炎に罹患された方の診療記録を収集し、外科治療成績、手術時期、術後合併症関連因子などに関して検討します。

診療を通じて得られた情報を使用しますので、新たな検査や調査をお願いすることはありません。

研究の対象となる方

2021年1月～2024年12月に当院で急性胆嚢炎治療を受けられた方

使用する試料・情報

年齢、性別、基礎疾患の有無、発症から治療開始までの期間、手術の有無など
使用開始予定日：2024年5月17日以降

研究予定期間

2024年5月17日～2025年12月31日

個人情報の取り扱い

研究情報は、許可された研究者のみが使用します。研究成果を学会等で発表予定ですが、個人が特定されないよう氏名等を削除した情報や集計結果を用いますので、プライバシーは守られます。

[研究の情報管理責任者] 外科 富安真二郎

[当院の個人情報管理責任者] 院長 中尾浩一

研究への協力について

研究目的にご自身の診療情報等を利用されることを希望されない場合は、研究対象とせず、利用を停止すると共に、収集した情報等も可能な限り削除します。本研究への協力は患者さんの治療とは関係が無く、ご協力いただけない場合も患者さんに不利益が生じることはありません。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、関連資料を閲覧することが出来ます。

問い合わせ先

済生会熊本病院 外科 富安真二郎

住所：熊本市南区近見5丁目3番1号 電話：096-351-8000(代表)